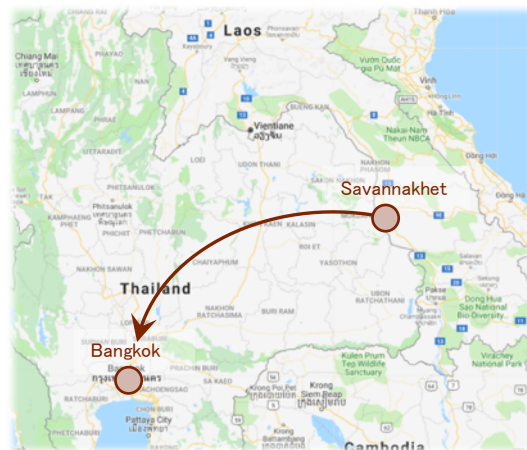


灌漑ポンプ用モーター維持管理、点検、診断技術研修の実施

プロジェクトでは、灌漑スタッフに対するモーターの維持管理、点検、診断技術力を強化するため技術研修を8月26日～31日に、タイの首都バンコクで実施しました。

1. ポンプ修理研修が必要な背景

灌漑用ポンプモーターは、水利組織が維持管理を行い、県農林局 OM(施設管理)ユニットや郡農林事務所 (DAFO)が技術支援をしています。しかし、①日常のメンテナンス(ベアリングに注入するグリスはどの程度入れれば良いか等)や、②点検のポイント(こういった症状が出たら修理すべきなのか、長持ちさせる方法等)、③異常を早期に発見するための診断技術が不足しています。そのため、プロジェクトでは、灌漑部門のカウンターパートを対象に、これらの技術力を強化するための研修を実施しました。



2. 研修の内容

実用的な知識・技術を強化するため、プロジェクト地区の灌漑ポンプ用モーターを使用してオーバーホールをモーター修理会社に依頼し、全てのオーバーホール作業に4名の灌漑スタッフが立ち会いました。作業中、灌漑スタッフから技術者に対して様々な質問がされ、また、技術者からモーターを長持ちさせるポイント、日常の点検、維持管理の方法等について説明を受けました。

研修参加者

Mr. Vanlakhone PHANGTHAVONG
(サバナケット県農林局 OM ユニット長)

Mr. Soutsavanh KEOPHALIVANH
(サバナケット県農林局 OM ユニット)

Mr. Vetsada CHANTHAVONGSA
(サイプリー郡農林事務所灌漑担当)

Mr. Sanh PHIMTHONGSING
(ターパントン郡農林事務所灌漑担当)



オーバーホール前のモーター



コイル取り付け(重要な作業)



部品洗浄の手伝い



技術者の説明を受ける



性能確認

3. 研修の成果

研修で得た知識と経験を技術ブックとしてとりまとめました。技術ブックは、①灌漑スタッフと水利組織が使う技術、②灌漑スタッフが基本知識として知っておくべき技術、の構成でとりまとめました。



毎日夕方に打合せを実施し
学んだことを共有



技術ブック作成

技術ブックの主な内容

I. ポンプモーター維持管理、日常点検・診断技術

- ・長持ちさせる 3 つの重要なポイント
- ・毎日の稼働時にチェックすべき項目
- ・電気代を減らすためのコツ
- ・ベアリングに使用するグリスの品質、塗布量
- ・稼働中の点検のポイント



II. ポンプモーター修理技術

- ・オーバーホール作業ステップ
 - ・部品分解、組立時に気をつけるポイント
 - ・交流／直流モーターの特長
 - ・ベアリング装着時のポイント
- など

～研修参加者より～

ワンラコーン・パンタウン
サバナケット県農林局
OM(施設管理)ユニット長



今回の研修で明らかになったのは、これまでのポンプの使い方が実は適切でなかったという点、そしてラオスにおけるポンプ修理技術が十分なレベルにないという点でした。例えば、ポンプの設置時に十分な均平化がされていない、交換部品の品質が十分な基準を満たすものでないなどの点は、供給される電気の電圧が不安定なこと合わせて故障の主な原因になっています。

研修後には、ポンプの取扱いや保守方法について一冊の技術ブックにまとめました。この本が DAFO 職員や水利組織自らの適切なポンプの利用と維持管理向上の一助になるよう願っています。

技術ブックに関する質問や電子ファイルが欲しい方はご連絡下さい。

サバナケット県農林局灌漑課
(担当:ワンラコーン 041-212152)

4. 今後の予定

今回お世話になったモーター修理会社の技術者によるラオスでの研修を実施します。具体的には、サバナケット県において灌漑農業を行う地域の農家(ポンプ担当者)と行政官に対して、現場における灌漑ポンプ用モーターの維持管理の方法や、毎日の点検について指導を受ける予定です。

次号予告

マーケティングチームでは雨季に屋根掛けハウスによる野菜栽培や黒ゴマ栽培、販売支援を実施しました。次号でその結果を報告いたします。